

病院名 兵庫県立がんセンター  
都道府県名 兵庫県

## 都道府県の情報

都道府県内の総人口	5,533,346人
がん死亡者数 (%)	16,421人 (0.30%)
高齢化率	26.8%

(2015年)

## 都道府県内のがん患者の状況

がん種	罹患者数	死亡者数	死亡率 (男,女)
肺がん	5,657人	3,346人	39.8,10.8%
大腸がん	6,361人	2,047人	19.8,10.9%
胃がん	6,216人	2,075人	22.9,8.1%
乳がん	3,751人	581人	0.1,10.6%
肝臓がん および肝 内胆管癌	2,331人	1,474人	15.7,5.7%

病院名  
都道府県名

## がん診療連携拠点病院の情報

都道府県がん診療連携拠点病院

県立がんセンター

400床

## がん診療連携拠点病院の情報

### 地域がん診療連携拠点病院

神戸大学医学部附属病院	934床
神戸市立医療センター中央市民病院	768
神戸市立西神戸医療センター	475
神鋼記念病院	333
関西労災病院	642
兵庫医科大学病院	963
県立尼崎総合医療センター	730
近畿中央病院	445
市立伊丹病院	414

## がん診療連携拠点病院の情報

### 地域がん診療連携拠点病院

加古川中央市民病院	600床
西脇市立西脇病院	320
姫路医療センター	411
姫路赤十字病院	560
赤穂市民病院	360
公立豊岡病院組合立豊岡病院	518
県立丹波医療センター	320
県立淡路医療センター	441

## がん診療病院の情報

### 兵庫県指定がん診療連携拠点病院

神戸医療センター	304床
県立西宮病院	400
西宮市立中央病院	257
宝塚市立病院	436
県立加古川医療センター	353
北播磨総合医療センター	450
製鉄記念広畑病院	392

## 都道府県におけるがん医療の特性

- ・罹患率は全国とほぼ同じような傾向があるが、男性の胃、大腸、肝、肺、前立腺がん及び女性の胃、大腸、肝、肺がんは全国よりも高い。
- ・がんで死亡した者の約8割強（男性86.6%、女性84.3%）が65歳以上であった。
- ・死亡は全国と比べて、男性で肝、肺、女性でも肝が多かった。

## 都道府県におけるがん化学療法の現状と課題

【現状】 保健医療計画やがん対策推進計画に記載なし

- ・ 拠点病院の整備（国指定 14 病院、県指定 9 病院）
- ・ 学会等が認定する専門医の複数配置については、14 拠点病院中 12 病院について整備済み

---

### 【課題】

- ・ 地域診療連携の推進
  - ・ 専門的ながん医療を行う医師・看護師・薬剤師等の育成
  - ・ ゲノム医療等新たな治療法に対応した環境整備が必要
-



## 都道府県単位でがん医療の質向上に資する活動

年1回、チーム医療研修会を開催。

今年度予定は、第7回 兵庫県がん化学療法チーム医療研修会  
テーマは「がんゲノム医療」。幅広い施設より参加いただくため、基本的な内容を予定。

がんゲノム医療に関する基本的な内容を習得することで、必要な患者・家族などにがんゲノム医療を届けるための理解を深めることを目的とする。

日時 令和3年12月11日（土） 13時00分～17時00分

参加施設 10施設

がん化学療法チームとして勤務している医師、薬剤師、看護師及びMSWを対象とし、4職種で参加。

## 研修でうまく行えている点をあげてください

参加施設間での違うなどを共有できている。  
グループワークで、多職種での意見交換ができる。  
前回は、初めてオンラインで開催できた。  
今回も遠方からも参加予定である。

## 上記が上手く行えるように工夫している点は何ですか

職種毎のグループでの時間を作ったり、発言を  
行いやすい状況を作る。  
新型コロナの対策関係なしでも、オンラインでの  
開催はメリットがあり、継続を検討。

病院名  
都道府県名

## 研修で困っている事をあげてください

チーム医療研修会を毎年開催しており、  
チーム医療として検討しやすいテーマを探すのが  
難しくなっている。

## 研修計画の評価

### 【研修デザインに関する評価】

- 県内でのゲノム医療などに対応する整備が必要とされており、幅広い地域から、これからゲノム医療に取り組みたい施設・参加者の予定をした。

### 【研修結果に関する評価】

## 次回に向けた課題と方向性

### 【課題】

- Webで参加者が多く、総合討論が難しかった
- 講義が不十分(知識)

### 【方向性】

- 参加施設を絞って討論しやすい状況をつくる
- 講義を行った上でのグループワーク実施
- 次回開催のテーマを募る

# 研修の概要

【タイトル】 がんゲノム医療

【目的】 がんゲノム医療に関する基本的な内容を習得することで、必要な患者、家族などにがんゲノム医療を届けるための理解を深める

【対象者・人数】 4名ずつの10チーム(4職種)

## 【目標】

一般目標 (GIO)

- ・ がんゲノム医療の概要について知る
- ・ 各病院でゲノムについての情報共有が行える

到達目標 (SBO)

- ・ がんゲノム医療の適応がある患者へ説明ができる
- ・ がんゲノムについて話し合い場を作る
- ・ 研修に参加後、病院内で体制づくりの準備ができる

# プログラム

- 13:00～13:05 開会挨拶（院長）
- 13:05～13:35 講義 1
  - 「ゲノム医療概論」 講師：ゲノム担当次長
  - 「ゲノム医療における薬物療法～TRK阻害薬～」 講師：薬剤師
- 13:35～13:40 質疑応答
- 13:40～14:10 講義 2
  - 「がんゲノム医療と呼吸器内科の一例」 講師：呼吸器内科医長
  - 「がんゲノム医療（腫瘍内科での動き）」 講師：腫瘍内科部長
- 14:10～14:15 質疑応答
- 14:15～14:25 休憩（10分）
- 14:25～14:55 講義 3
  - 「がんゲノム医療における看護」 講師：がん看護専門看護師
  - 「がんゲノム医療-薬剤師とMSWはどう動く?-」 講師：ゲノム医療コーディネーター
- 14:55～15:00 質疑応答
- 15:00～15:40 施設別グループワーク
  - 明日からできるがんゲノム医療について話し合う
- 15:40～15:45 休憩（5分）
- 15:45～16:35 各施設からの発表・質疑応答
- 16:35～16:55 総合討論
- 16:55～17:00 閉会挨拶

# 研修の評価

## 【実施評価】

- ・「明日からできるゲノム医療」について、グループワークでの議論ができたか
- ・薬剤師やMSWもゲノムの理解を深めることができたか

## 【結果評価】

- ・ゲノム医療の対象患者に説明ができるか
- ・知識を得られたか
- ・ゲノム医療に関する理解度を測る
- ・チーム・コアメンバーなどの選定ができるか

## 【企画評価】

- ・研修参加者のニーズと合っていたか(アンケート)
- ・プログラム構成について、休憩時間や全体の時間配分
- ・Webでのディスカッションで話し合いが充分に行えたか